

津久戸

令和6年1月9日

1月号 新宿区立津久戸小学校

大切な学力とは

校長 本間 基史

昨年12月の学芸会は、新型コロナウイルスの影響で6年ぶりの開催となりました。本校は秋の文化的行事の学芸会・音楽会・展覧会を3年に一回のサイクルで実施しています。各行事を卒業までに2回、体験するようになっていきます。6年生の児童が「最初で最後の学芸会です。」と児童あいさつの中で話した時には日常の教育活動が実施できなかった、あの時のことを思い出しました。経済協力開発機構(OECD)は81カ国・地域の15歳を対象にした2022年に実施したPISA(学習到達度調査)の結果を公表しました。参加国・地域別では数学は5位、読解力は3位、科学は2位でした。OECD加盟国37カ国中では、数学・科学は1位、読解力は2位でした。OECDによると日本は学校休業中の短さや、その手厚い学習支援が好結果の一因になったとされています。その反面、実生活の課題を、数学を使って解決する自信が低く、実生活の事象と関連付けて学んだ経験も少ないとなっています。また、授業で日常生活と絡めた指導を行っている傾向がOECD平均を下回りました。すなわちテストの点は良いが実生活に役立っていないということです。

学芸会では台本を読み(読解力)、言葉で表現し、友達とセリフのやり取りや劇を創り上げていく中で話し合い活動をしてコミュニケーション能力を高めていきました。小道具や大道具、背景の作成では造形活動を行い、劇中で歌を歌い、効果音に合わせて踊るなど図工や音楽や体育の力も教科横断的に学んでいきました。これから大切な学力は学習で学んだ知識を社会生活の中でどれだけ活用できるかということです。また、本校の特色でもある読書活動は保護者の方にもたくさん支援していただいています。読解力・表現力の育成において大きな成果をあげていることが学芸会で証明されました。

本年も津久戸小学校では様々な体験活動を通して、子供たちの可能性を引き出す教育を進めて参ります。保護者の皆様、地域の皆様のご協力を引き続き、よろしく申し上げます。1月には元ラグビーアジア協会会長の徳増浩司氏と外国人コーチによる英語でラグビーを5年生で実施します。

縄跳び・持久走月間

1月は縄跳び月間、2月は持久走月間になります。

1月から始まる縄跳び月間では、個人で一つの跳び方を極めたり、多くの跳び方に挑戦したりします。各学級では、長縄跳びに挑戦し、「連続8の字跳び」などに取り組む予定です。縄跳びは、すすんで取り組むことで、体を鍛えることもできます。体力をつけることは病気の予防にも役立ちます。ご家庭でもぜひ取り組んでみてください。

2月から始まる持久走月間では、各学級が体育の時間や休み時間に持久走に取り組みます。一人ひとりが自分の決めた目標に向かって、あきらめずに取り組み、体を動かすことの気持ちよさを味わえるよう指導していきます。走ることはスポーツの基本なので、積極的に楽しみながら走る児童が増えてほしいと思います。



席書会

新しい年を迎えました。学校では、1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で席書会を行います。硬筆は、かきかた鉛筆を使って、手本を見ながら書きます。毛筆はだるま筆を使い、力強く書きます。

席書会では、練習を重ねれば本番で自信をもって書くことができます。子供たちはこれから生きていくなかで、人前でのスピーチ、試験、大会、面接など、「本番」で力を発揮しなくてはならない経験をたくさんしていきます。今回の席書会で味わった「本番」の緊張感や達成感を、これから迎える様々な「本番」に活かしてほしいと思います。

今年も書き初め展を行います。ぜひご来校いただき、子供たちの心を込めて書いた作品をご覧ください。



【学年の窓から・・・4年生】

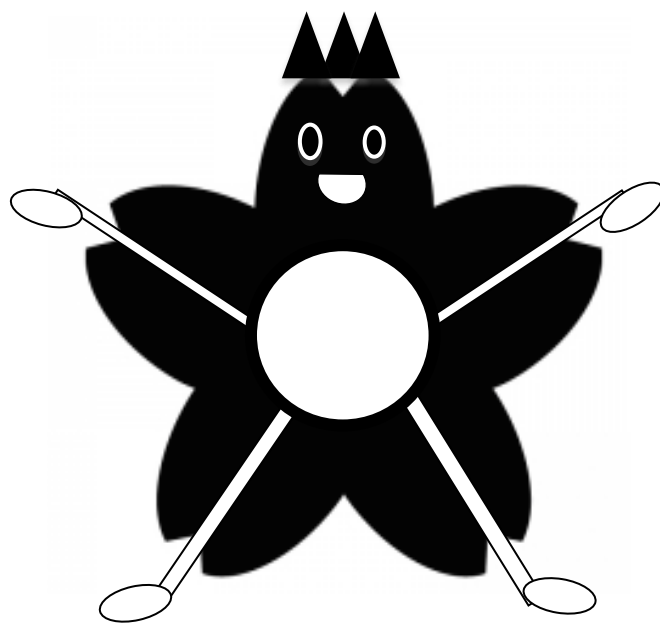
今の4年生は、新型コロナウイルス感染症の流行によって臨時休校していた中、入学した子供たちです。たくさんの制限がある中で学校生活を送ってきました。

今年度は制限も緩和され、様々な経験をすることができました。遠足、社会科見学、豆腐作りや味噌作り、運動会などに生き生きと取り組み、成長していく姿が見られました。外濠学習発表会、内藤とうがらしまつりでは、各グループのアイデアに感心しました。12月の学芸会では、演技の仕方、入場の曲、衣装や小道具など、グループで話し合っただけで決めました。自ら工夫して動ける子供たちなので、このような形をとることができました。

残りの3か月の活動も、子供たちのよさを生かしながら取り組んでまいります。

新年になり、学年の終わりも見えてきました。4年生という学年は高学年の準備期間です。これまで、1年生に読み聞かせをしてあげたり、3年生にきょうだい遊びを企画してあげたりと活躍してきました。今まで「してもら側」だったのが「してあげる側」になることで、相手意識をもちよく考えて活動するきっかけになったように感じます。また学芸会の練習では、「この役で頑張るんだ！」という意気込みが感じられました。本番も素晴らしい演技でやり遂げたとやっている子がたくさんいて、自信につながったようでした。

5年生になっても活躍できるよう、残りの3か月も子供たちの良いところを伸ばしていけるよう努めます。



1月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・学習の準備をきちんとしよう。
- ・忘れ物に気をつけよう。
- ・生活のリズムをとりもどそう。
- ・遊びのきまりを守ろう。

冬休みが終わりました。生活リズムを整え、落ち着いて学習に取り組めるようにご家庭のご協力をお願いいたします。まだまだ日が落ちるのが早く、暗くなるのがあつという間です。外に遊びに行くときには、だれと、どこへ行くのか話し、ご家庭で時間や場所など約束を決めていただければと思います。（生活指導部）